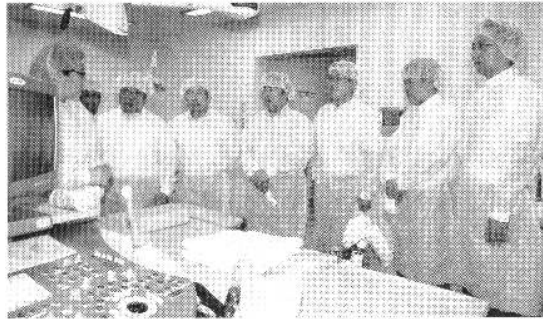


「不妊・不育」無料で相談 県議団 専門センターを視察

名古屋市

公明党愛知県議団(渡会克明団長)はここの区の名古屋大学医学部



名古屋大学医学部附属病院で不妊・不育の診察室を視察する党愛知県議団(右から6人)

附属病院を訪れ、同県議団が推進した、不妊・不育に関する無料相談窓口「愛知県不妊・不育専門相談センター」を視察した。同センターでは、カウンセラー(看護師、臨床心理士)を中心とする電話相談と、医師・カウンセラーによる面接相談(要予約)を開設。不妊症や不育症などで悩む女性らに対して、医学的な見地からアドバイスをを行う。関係者によると、検査および治療内容についての問い合わせが最も多く、「自分が受けている治療は一般的なのか」といった相談がよく寄せられるという。党県議団の一行は、関係者と意見交換を行った後、相談室や不妊

治療のための診察室などを見て回った。

不育症の相談窓口については、公明党の木藤俊郎県議が2011年12月定例会で設置を県に要望していた。渡会団長らは「認知度が低い不妊・不育治療などに対する啓発に取り組む」と語った。